

科目名	音楽基礎 4							年度	2025
英語科目名	Music Fundamentals 4							学期	後期
学科・学年	コンサート・イベント科 2 年次	必／選	選	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	田中亮	教員の実務経験		有	実務経験の職種		指揮者・合奏指導者		
【科目の目的】									
出向等を含め、小屋付きスタッフとして担当する可能性のある「吹奏楽」「オーケストラ」の公演について、その概要や必要とされる知識・技術を理解する。									
【科目の概要】									
学科の制作実習ではカバーしきれない内容を、動画や写真等の資料をふんだんに用いて解説する。オーケストラや吹奏楽の楽器の分類、指揮者の概要と小屋付きスタッフとの関わり、舞台上でスタッフが演奏者のための用意しておくべきこと、小屋付きスタッフが管理するグランドピアノの扱い方、音響・照明演出等で必要になるスコアリーディング能力の基礎、ひな壇の組み方とパターン、反響板の設置と意義、コンサートの一日の流れ、小屋打ちの内容、吹奏楽コンサートでよく扱われる楽曲の研究など、多岐にわたって扱う。									
【到達目標】									
A. 楽曲の進行や演出を把握するために必要なフルスコアの仕組みを知り、スコアリーディング能力の基礎を身につける B. オーケストラや吹奏楽の舞台制作の概要を知り、小屋打ちの内容、舞台設置のルールや手法、コンサート全体の流れなどについて理解する C. 吹奏楽団のコンサートでよく演奏される楽曲について、その概要を知り、楽曲について考える力を身につける。									
【授業の注意点】									
授業時限数の 4 分の 3 以上出席しない学生は、定期試験を受験する事ができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル 5 優れている	レベル 4 よい	レベル 3 ふつう	レベル 2 あと少し	レベル 1 要努力				
到達目標 A	ほぼ完璧にフルスコアの演奏箇所を指摘でき、音響・照明演出等に活かすことができる。	フルスコアのメロディやリズムの形から楽曲の姿を捉え、おおよその演奏箇所の指摘ができる。	フルスコアから、おおよその楽曲の姿をとらえられる。	講師の補助を受けて演フルスコアの奏箇所の理解ができる。	フルスコアの演奏箇所の認識・指摘ができない。				
到達目標 B	授業内で触れた内容について、他者に同じように説明ができる。	授業内で触れた内容についての練習問題を正解できる。	授業内で触れた内容について理解できる。	授業内で触れた内容についての練習問題に正解できないが、解説を聞いて理解できる。	授業内で触れた内容についての練習問題に正解できず、解説を聞いても理解できない。				
到達目標 C	授業内で触れた内容について理解し、楽曲についての考察ができるようになる。	授業内で触れた内容についての練習問題を正解できる。	授業内で触れた内容について理解できる。	授業内で触れた内容についての練習問題に正解できないが、解説を聞いて理解できる。	授業内で触れた内容についての練習問題に正解できず、解説を聞いても理解できない。				
【教科書】									
適宜プリントを配布する。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】									
期末試験、授業課題									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		音楽基礎 4				年度	2025
英語表記		Music Fundamentals 4				学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル		評価方法	自己評価
1	スコアリーディング基礎 (1)	フルスコアについて、概要を理解する。	1 フルスコアとは	フルスコアの基本を理解する		3	
			2 読み方入門	短いスコアを例に読み方を体験する。			
			3 演奏の追い方	演奏動画を見て、スコアを追う体験をする。			
2	スコアリーディング基礎 (2)	フルスコアの読み方の基本を理解する。	1 スコアに書かれていること	スコアに書かれていることは何なのかを理解する。		3	
			2 楽器分類の書かれ方	楽器分類とスコアの配置を理解する。			
3	スコアリーディング基礎 (3)	楽曲の進行とカットについて理解する。	1 楽曲の進行の記号	リピートマーク、D. C.、D. S.、Coda等について理解する。		3	
			2 楽曲のカット	吹奏楽の世界で頻発する楽曲のカットについて理解する。			
			3 著作権法上のカット	著作権の視点で楽曲のカットについて考える。			
4	スコアリーディング基礎 (4)	フルスコアに書かれる指示記号について理解する。	1 指示記号	スコアに記載される指示記号について理解する。		3	
			2 テンポ変化の楽語	テンポ変化の楽語について理解する。			
5	スコアリーディング基礎 (5)	吹奏楽の「宝島」を題材に、フルスコアの読み方の基本、楽譜の記号や指示の意味を理解する。	1 スコアの情報整理	編成や使用楽器について理解する。		3	
			2 曲のスタイル・ビート	曲のスタイルやビートの指示を理解する。			
			3 テンポの体感	よく使われるテンポがどのくらいの速さかを体感する。			
6	スコアリーディング基礎 (6)	「宝島」の編成、楽曲構成、スタイル、ソロ、特徴を把握してスコアを読むことを理解する。	1 スコアへのメモ	メモの仕方や道具について理解する。		3	
			2 演奏上の記号	演奏上の記号の意味について理解する。			
			3 「宝島」の検証	「宝島」の曲中の指示や特徴を理解する。			
7	学校吹奏楽部・アマチュア楽団との小屋打ち (1)	小屋打ちの概要やタイムスケジュールの確認について理解する。	1 小屋打ちの概要・流れ	小屋打ちの概要や、それに至る流れを理解する。		3	
			2 タイムスケジュールの確認	タイムスケジュールをチェックするポイントを理解する。			
			3 反響板・オケピ	反響板やオーケストラピットの設置動画を見て検証する。			
8	学校吹奏楽部・アマチュア楽団との小屋打ち (2)	タイムスケジュールの観点で各所をチェックする方法を理解する。	1 ひな壇の設置 (1)	ひな壇の設置パターンの概要を理解する。		3	
			2 音響・照明のチェック	タイムスケジュールの視点で音響・照明の確認を理解する。			
			3 タイムスケジュール全体	全体的な流れをチェックするポイントを理解する。			
9	吹奏楽団・オーケストラの舞台配置図 (1)	舞台配置図から読み取る内容を理解する。	1 附帯設備の確認	舞台配置図から附帯設備を読み取るポイントを理解する。		3	
			2 尺貫法とひな壇組み	尺貫法を理解し、ひな壇組み周りの用語を理解する。			
10	吹奏楽団・オーケストラの舞台配置図 (2)	ひな壇と舞台配置図について理解する。	1 ひな壇設置 (2)	ひな壇設置の動画を見て、手法と用語の理解を深める。		3	
			2 反響板の扱い	反響板を設置や運用をするときの留意事項を理解する。			
			3 舞台配置図と必要備品	舞台配置図から椅子や譜面台などの備品の数を割り出す。			
11	吹奏楽団・オーケストラのコンサートの流れ (1)	解錠～ステージリハーサルまでの流れを理解する。	1 解錠・舞台設営	解錠・舞台設営の流れを理解する。		3	
			2 ステージリハーサル	ステージリハーサルの流れを理解する。			
			3 受付・ホワイエ	受付・ホワイエの準備について知る。			
12	吹奏楽団・オーケストラのコンサートの流れ (2)	プレコン・開演～アンコール・終演までの流れを理解する。	1 プレコン	プレコンの流れを理解する。		3	
			2 入場形式・開演	入場形式や開演の流れを理解する。			
			3 アンコール	アンコールの流れを理解する。			
13	吹奏楽曲研究 (1)	シンフォニックな吹奏楽曲について研究する。	1 古典的な吹奏楽曲	古典的な吹奏楽曲の例を聴いて研究する。		3	
			2 スタンダードな吹奏楽曲	スタンダードな吹奏楽曲の例を聴いて研究する。			
			3 法人作品	邦人作品の吹奏楽曲の例を聴いて研究する。			
14	吹奏楽曲研究 (2)	ポップスの吹奏楽曲について研究する。	1 ポップス楽譜出版の歴史	ポップス楽譜出版の歴史を理解する。		3	
			2 各出版社の特色	有名出版社の特徴の違いを理解する。			
			3 吹奏楽ポップスの最先端	最先端のポップス演奏を聴いて研究する。			
15	まとめ	後期の授業内容を振り返って理解し、期末試験に備える。	1 後期試験出題概要	試験の出題形式や対策方法について理解する。		3	
			2 授業内容の振り返り	後期の内容を振り返り、復習して理解を深める。			

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等